

マリレジャー安全レポート

第27号(平成19年10月)

第七管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan-7@kaiho.mlit.go.jp



平成19年9月
プレジャーボート等
海難発生隻数

合計	9隻
衝突	1
乗揚	1
転覆	0
浸水	0
推進器障害	2
舵障害	0
機関故障	2
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	2
安全阻害	0
その他	1

プロペラの停止を確認して 接近しましょう！

9月1日、佐世保市ハウスステンボス南防波堤灯台沖合いで、事故者が友人家族とプレジャーボートに乗船し、1330頃からバナナボートで遊走していたところ、振り落とされ、事故者を収容するためプレジャーボートが近づき、前進速度が無いと思い込んだ事故者が、泳いで船尾の梯子台に到着した際、後進最微速であった船外機プロペラに接触し、右膝裏を裂傷、縫合手術を受けています。

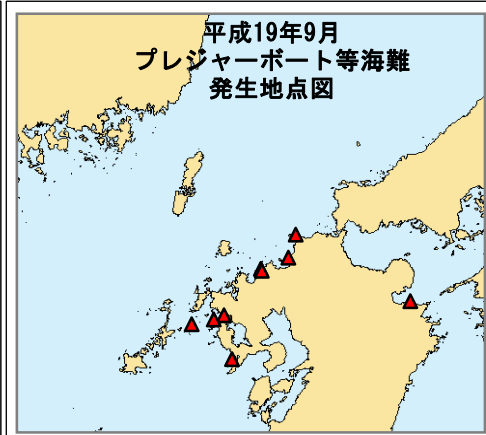
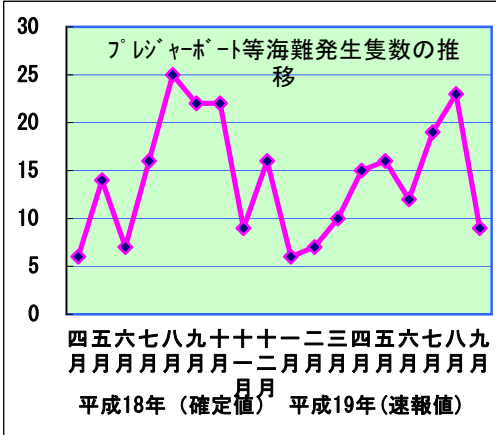


バナナボート



～事故からの教訓～

海中転落事故に遭遇した場合、転落者はプロペラの停止を完全に確認したうえで、接近しましょう。プレジャーボートの操船者も転落者の接近していることから確実にスイッチオフの状態を確認して救助活動を行いましょう。過去にはプロペラで腕を切断したり、頭部を直撃して死亡に至った例もありますので、十分な注意が必要です。



プレジャーボートの衝突海難 ～見張りの重要性について～

第七管区海上保安本部管内(北部九州及び山口西部海域)では、プレジャーボートの海難は過去5年間で765隻発生し、船の種類別では全体の約三割を占めています。中でも衝突は145隻で、機関故障(185隻)に次ぐ第2位となっています。機関故障と違い、衝突は乗組員の体に与えるダメージは大きく、61名が負傷し、6名が死亡又は行方不明となっています。

では、衝突の原因で一番多いのは何かというと、見張り不十分が88隻で全体の約六割を占めています。そしてこの88隻の衝突直前の状態を調べると、航行中が36隻、錨泊中及び漂流中がそれぞれ26隻で、錨泊、漂流中がなんと六割近くもあります。

海上衝突予防法第5条には「船舶は、周囲の状況及び他の船舶との衝突のおそれについて十分に判断することができるように、視覚、聴覚及びその時の状況に適した他の

すべての手段により、常時適切な見張りをしなければならない。」と規定されています。
 航行中は当然として、錨泊中、漂泊中といえども見張りは必要です。
 「ぶつかってこないだろう」ではなく「ぶつかってくるかもしれない」
 と心がけ、見張りを行いましょ。

海の相談室だより (七管本部海洋情報部)

釣ポイントの測地系変換 -分と秒の取り違え-

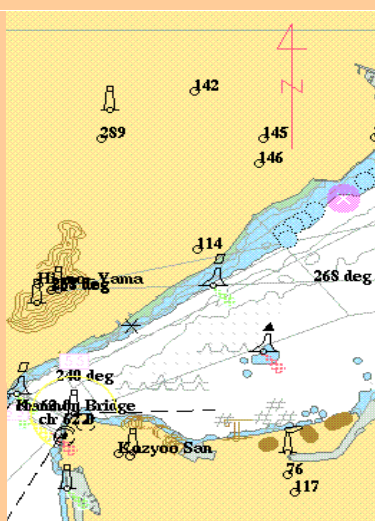
先日、記録していた釣ポイントの位置（日本測地系）を世界測地系に修正したいという相談がありました。海上保安庁がインターネット上で公開している測地系変換プログラム
 (<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOHO/eisei/sokuchi/html/henkan.html>) を使えば正確に求めることができます。

電子海図やGPSプロッターを「度・分・秒」表示にしてあげれば簡単なのですが、図のように単位が「度・分」までで「秒」が表示されていない場合、ポイントの経度と緯度を入力するときに注意が必要です。
 図中のGPS表示は北緯33度55.683分を示していますが、55以下の683は秒ではなく、0.683「分」を表しています。

右図はプログラムの表示画面です。
 1分は60秒なので
 $0.683(\text{分}) \times 60 = 40.98(\text{秒})$
 となり、「33」、「55」、「40.98」と入力します。同様に経度も入力して計算させると、世界測地系で33度55分52.73秒となります。

釣ポイントの位置をGPSプロッターに入力するときは、52.73秒を60で割って小数以下の値を求める必要があります。
 $55(\text{分}) + 52.73(\text{秒}) \div 60 = 55.878(\text{分})$

この差は距離にして400m以上もあり、ポイントを大きくはずしてしまいます。釣りの成果を上げるため、更には経緯度の取り違いによる事故を防ぐため、頭の体操を兼ねて計算してみてください。



PLAN	
1 / 40000	Approach
ID : jp44mona.000	Scale : 1/80000
Datum : TOY	S-Cont : 10
Height : meter	Depth : meter
Message	
Own Ship	
GPS 33°55.683N 130°58.526E	
Gyro 000.0°	Log 00.0 Kt
CMG 000.0°	SMG 00.0 Kt
XTE	* ** ** NM
Chartered Co.	***.*°
Gyro Co.	***.*°
Next Co.	***.*°
Cursor	
33°55.683N	130°58.526E
***.*°	***.* NM
Mem Off	

- 計算方法を指定して下さい。日本測地系から世界測地系へ
- 日本測地系の歪みの補正を行いますか。行く(通常はこれを選択してください)
- 緯度経度を入力して下さい。
 - イ. 一点の場合
 - 北緯: 度 分 秒 例) 北緯35度45分27.5秒の場合 → 35 45 27.5
 - 東経: 度 分 秒 例) 東経141度16分23.5秒の場合 → 141 16 23.5 と入力して下さい。
 - 再入力: 計算開始:
 - ロ. 一度に複数の点を変換する場合
 - 下のエリア(この順に緯度の度分秒、経度の度分秒を入力して下さい。
 - 例) 35 45 27.5 141 16 23.5
 - 36 00 00.0 135 00 00.0
 - と入力して下さい。

